

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和4年3月】

■調査概要（データ対象期間：令和4年3月1日～3月31日）

○調査期間：令和4年3月31日～令和4年4月20日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業20企業、製造業18企業、卸売業13企業、小売業24企業

飲食業17企業、サービス業41企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計133企業>

○調査項目：3月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

## 業況DI、水準DI共にマイナス幅の縮小

### 1. 業況判断

○全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲30.3)よりマイナス幅が22.0ポイント縮小し、▲8.3となった。業種別では、卸売業はプラス幅が拡大した。製造業、小売業はマイナスから0になった。飲食業、サービス業、建設業はマイナス幅が縮小した。

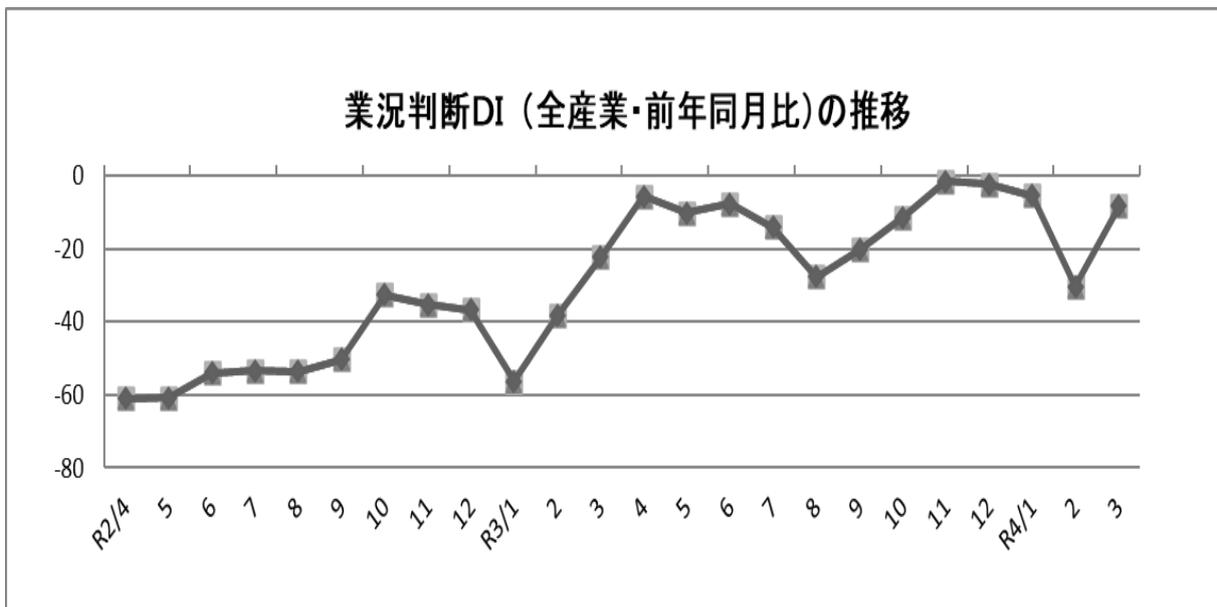
○全産業合計の水準DIは、前月(▲41.7)よりマイナス幅が18.4ポイント縮小し、▲23.3となった。業種別では、卸売業はマイナスからプラスになった。製造業、飲食業、小売業、建設業はマイナス幅が縮小し、サービス業はマイナス幅が拡大した。

#### 業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	18.0 (10.6)	55.7 (48.5)	26.3 (40.9)	▲ 8.3 (▲ 30.3) ↗	15.8 (9.1)	45.1 (40.1)	39.1 (50.8)	▲ 23.3 (▲ 41.7) ↗
建設業	0.0 (0.0)	75.0 (71.4)	25.0 (28.6)	▲ 25.0 (▲ 28.6) ↗	0.0 (0.0)	80.0 (76.2)	20.0 (23.8)	▲ 20.0 (▲ 23.8) ↗
製造業	33.3 (10.5)	33.4 (31.6)	33.3 (57.9)	0.0 (▲ 47.4) ↗	33.3 (5.3)	27.8 (31.5)	38.9 (63.2)	▲ 5.6 (▲ 57.9) ↗
卸売業	38.5 (40.0)	38.4 (30.0)	23.1 (30.0)	15.4 (10.0) ↗	38.5 (30.0)	38.4 (30.0)	23.1 (40.0)	15.4 (▲ 10.0) ↗
小売業	29.2 (8.0)	41.6 (60.0)	29.2 (32.0)	0.0 (▲ 24.0) ↗	33.3 (16.0)	25.0 (32.0)	41.7 (52.0)	▲ 8.4 (▲ 36.0) ↗
飲食業	11.8 (0.0)	41.1 (20.0)	47.1 (80.0)	▲ 35.3 (▲ 80.0) ↗	0.0 (0.0)	35.3 (6.7)	64.7 (93.3)	▲ 64.7 (▲ 93.3) ↗
サービス業	9.8 (14.3)	75.6 (52.4)	14.6 (33.3)	▲ 4.8 (▲ 19.0) ↗	4.9 (9.5)	53.6 (45.3)	41.5 (45.2)	▲ 36.6 (▲ 35.7) ↘

( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計  
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計



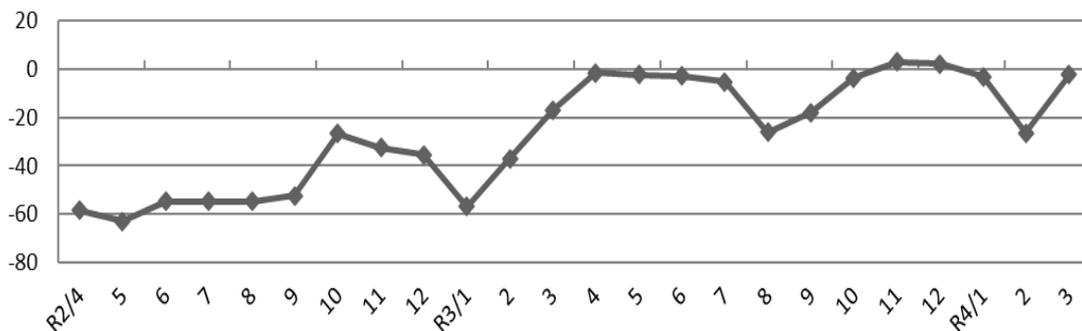
## 2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲26.5）よりマイナス幅が24.2ポイント縮小して、▲2.3となった。業種別に見ると、卸売業はプラス幅が縮小した。小売業、サービス業はマイナスからプラスに転じ、製造業はマイナスから0になった。飲食業はマイナス幅が縮小し、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
全体	▲16.8	▲1.4	▲2.2	▲2.9	▲5.1	▲26.1	▲17.9	▲3.5	3.0	2.3	▲3.1	▲26.5	▲2.3
建設業	▲30.0	▲30.0	▲33.4	▲18.2	▲26.3	▲25.0	22.2	▲4.5	15.8	▲5.5	▲15.8	▲23.8	▲25.0
製造業	▲27.3	▲8.7	16.7	25.0	35.0	22.7	4.6	10.0	▲5.2	▲5.0	10.5	▲52.7	0.0
卸売業	23.1	33.4	10.0	7.7	▲10.0	▲25.0	0.0	7.7	9.1	8.3	40.0	40.0	23.1
小売業	▲11.1	3.6	▲8.3	▲16.7	▲13.6	▲48.2	▲45.9	20.9	13.0	9.1	4.4	▲28.0	4.2
飲食業	▲57.9	▲18.7	▲31.3	▲10.0	▲25.0	▲82.4	▲61.1	▲17.6	5.3	16.6	▲50.0	▲80.0	▲35.3
サービス業	▲2.4	9.7	13.6	0.0	0.0	▲15.0	▲17.5	▲20.5	▲7.1	▲2.5	0.0	▲12.0	9.8

売上高DI（全産業・前年同月比）の推移



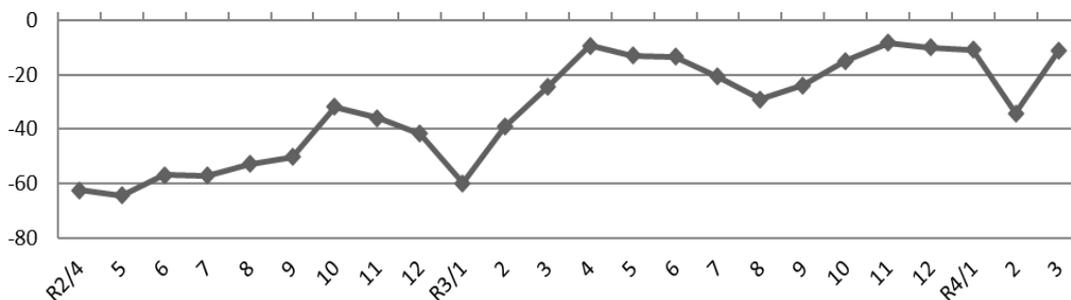
## 3. 営業利益DI（前年同月比）

○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲34.1）よりマイナス幅が22.8ポイント縮小して、▲11.3となった。業種別に見ると、卸売業は0からマイナスに転じ、サービス業、小売業はマイナスからプラスに転じた。製造業、飲食業はマイナス幅が縮小し、建設業はマイナス幅が拡大した。

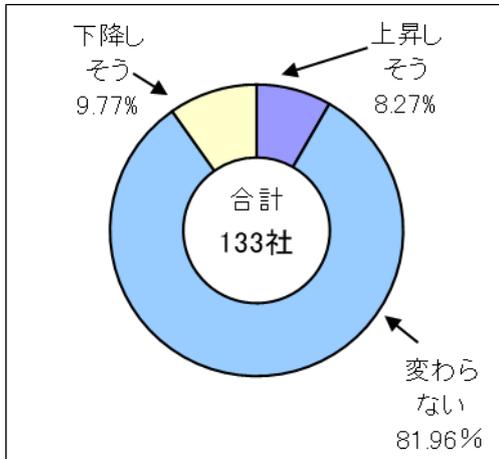
【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
全体	▲24.5	▲9.3	▲13.0	▲13.5	▲20.8	▲29.0	▲23.9	▲15.0	▲8.3	▲10.0	▲10.8	▲34.1	▲11.3
建設業	▲35.0	▲40.0	▲33.3	▲18.2	▲36.8	▲30.0	5.6	▲22.7	▲5.2	▲27.8	▲21.0	▲23.8	▲30.0
製造業	▲31.9	▲17.4	4.2	▲5.0	5.0	4.5	▲4.5	▲20.0	▲15.7	▲35.0	▲10.6	▲57.9	▲11.1
卸売業	7.7	16.7	0.0	▲7.7	▲20.0	▲16.7	0.0	7.7	▲9.1	0.0	30.0	0.0	▲7.7
小売業	▲22.2	0.0	▲12.5	▲25.0	▲27.3	▲37.0	▲50.0	4.2	4.3	0.0	0.0	▲16.0	4.1
飲食業	▲52.6	▲25.0	▲43.7	▲15.0	▲35.0	▲82.4	▲66.7	▲29.4	▲21.0	16.6	▲56.2	▲80.0	▲47.0
サービス業	▲14.3	2.4	▲4.5	▲9.5	▲15.9	▲22.5	▲20.0	▲20.4	▲7.1	▲10.0	▲4.7	▲31.0	2.4

営業利益DI（全産業・前年同月比）の推移



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

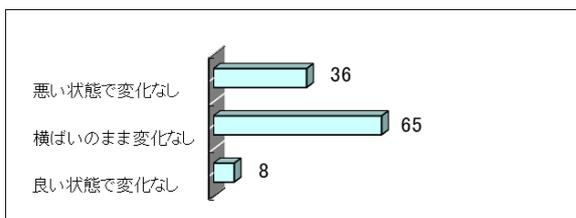


○令和4年4月～令和4年6月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.69ポイント上昇し8.27%、「下降しそう」が0.68ポイント上昇し9.77%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲5.0)、製造業(▲22.2)、卸売業(0.0)、小売業(0.0)、飲食業(11.8)、サービス業(2.5)であった。

➡「上昇しそう」では「新年度の工事が発注されるため」(建設業)「前年に比べると販売数が伸びているため」(卸売業)「春は異動の季節でもあり、まん延防止等重点措置の規制も解けて、コロナワクチン3回目の接種も進み、暖かくなって今まで外出を控えていた人々が動いているため」(飲食業)「職業訓練受講者数が安定しないものの、増加に転じたため」(GWがあるため)(サービス業)といった声が寄せられた。また「新型コロナウイルス感染症が落ち着きそうなため」「まん延防止等重点措置が解除されるため」といった声が多数寄せられた。

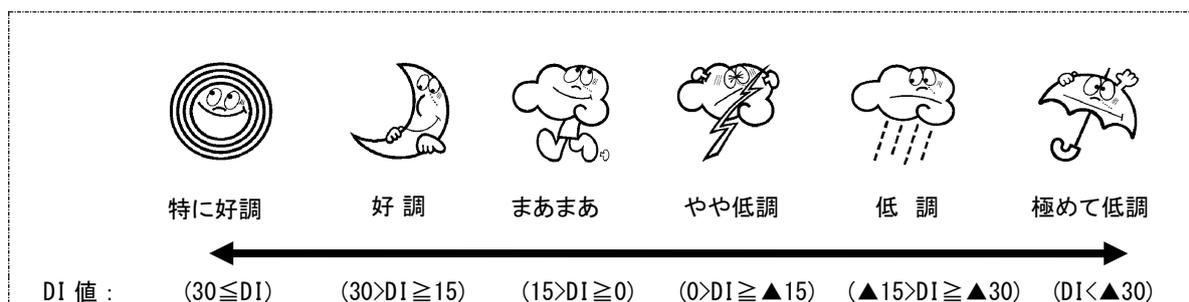
➡「変わらない」では「好材料が見当たらないため」(小売業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「ポストコロナに向けての動きが逆風であるため」「上海のロックダウンやウクライナ情勢の影響を受けているため」「コロナ禍の影響があるため」「3月は受注量が特に多かったが、これからは例年並みと予想しているため」(製造業)「野菜が高値になっており、購入する意欲が減少しているため」(卸売業)「6月以降の引合状況が少し寂しいため」「例年受注が落ちる時期なため」「官公庁の出足が鈍く民需も期待が望めないため」(サービス業)といった声が寄せられた。



# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
売上高	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 33.4	▲ 18.2	▲ 26.3	▲ 25.0	22.2	▲ 4.5	15.8	▲ 5.5	▲ 15.8	▲ 23.8	▲ 25.0
受注量	▲ 30.0	▲ 45.0	▲ 28.5	▲ 18.2	▲ 36.8	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 5.3	▲ 38.9	▲ 31.5	▲ 42.9	▲ 30.0
受注単価	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 9.1	▲ 15.8	▲ 10.0	▲ 5.6	▲ 9.1	5.3	▲ 11.1	▲ 15.8	▲ 19.0	▲ 10.0
営業利益	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 36.8	▲ 30.0	5.6	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.8	▲ 30.0
見通し	▲ 20.0	▲ 5.0	14.2	4.5	0.0	5.0	11.1	▲ 4.5	▲ 5.3	▲ 5.5	▲ 15.8	▲ 19.0	▲ 5.0

## <経営者の目・見方・e t c >

鉄工

・鋼材費の高騰が止まらない。短期間に値上げとなるため、値決め交渉ができない。ウクライナとロシアの戦争もあり、今後の市況が全く見えてこない。

・鋼材料や燃料の値上がりが極めて深刻な問題になってきている。

土木工事

・材料が軒並み値上げ状態で、公共工事の発注減が懸念される。

電気工事

・4月から材料単価が上がるので気になるところである。また、徐々に間に合わないものが出てきているので慎重に事を運ばなければいけない状況である。

## 2. 製造業



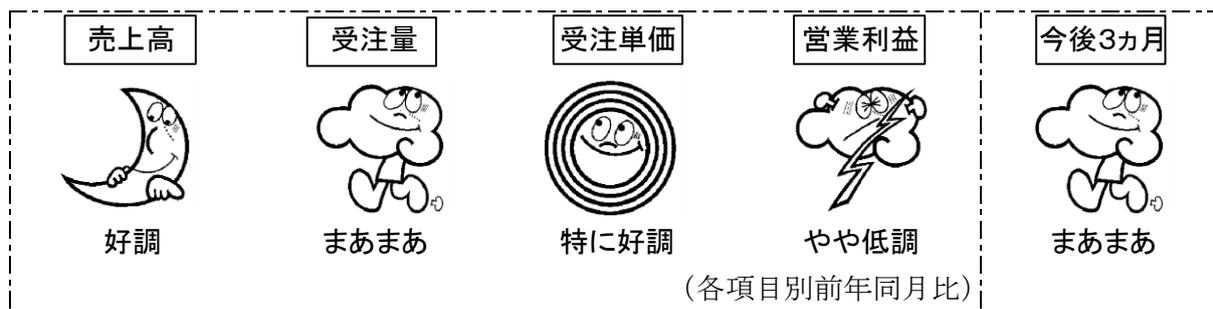
【項目別DIの推移】

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
売上高	▲ 27.3	▲ 8.7	16.7	25.0	35.0	22.7	4.6	10.0	▲ 5.2	▲ 5.0	10.5	▲ 52.7	0.0
受注量	▲ 13.7	▲ 8.7	8.3	25.0	25.0	9.1	4.6	10.0	▲ 5.2	▲ 10.0	5.2	▲ 47.4	5.5
受注単価	▲ 18.2	0.0	0.0	5.0	0.0	▲ 9.1	▲ 9.1	5.0	5.3	▲ 5.0	▲ 10.5	▲ 21.0	▲ 5.5
営業利益	▲ 31.9	▲ 17.4	4.2	▲ 5.0	5.0	4.5	▲ 4.5	▲ 20.0	▲ 15.7	▲ 35.0	▲ 10.6	▲ 57.9	▲ 11.1
見通し	4.5	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 20.0	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 15.8	5.3	▲ 22.2

### <経営者の目・見方・e t c>

- |        |  |
|--------|--|
| 精密機械   | ・部品不足に加えて、材料等の値上げだけでなく人材不足も表面化してきた。先行きがますます不透明な状況である。  |
| 精密機器組立 | ・かけこみでの生産量は多かった。材料の不足や高騰は相変わらずだが直近では上海のロックダウンの影響が懸念される。  |
| 金属塗装   | ・売上は徐々に上昇してきているが、原材料や燃料の上昇が急で売値に転嫁できていない。採算は悪化してきている。  |
| 紙器     | ・前年に比べて売り上げは伸び悩んでいるが、少しずつ利益は出てきている。段ボールシートの値上げが強引に押し切られ5月1日より板紙が値上げ要請されており、なかなか得意先に浸透できず、またすべての値上げは6月1日ごろからになりそうである。   |
| 印刷     | ・長野県全体の印刷業の年間売上が、一企業の年間売上高を容易に下回るという事実と、スポーツ選手の所属兼スポンサー企業に「お稼ぎになっていらっしゃるから」とお声がけなさる学校関係者や地元の方がいると聞いた。日本はいかにビジネスとお金の動きを正しく把握しようと学び続ける大人がいないのかと厳しく痛感した。この状況ではまだ業界を理不尽に苦しめてしまう。 |
| 清酒製造業  | ・転勤時期や移動時期のせいか高級なお酒がよく出た。安い商品から高級志向に移り変わりつつある。   |
| 食品・飲料  | ・原材料、エネルギー、物流の全てにおいて値上げ要請が来ている。  |

### 3. 卸売業



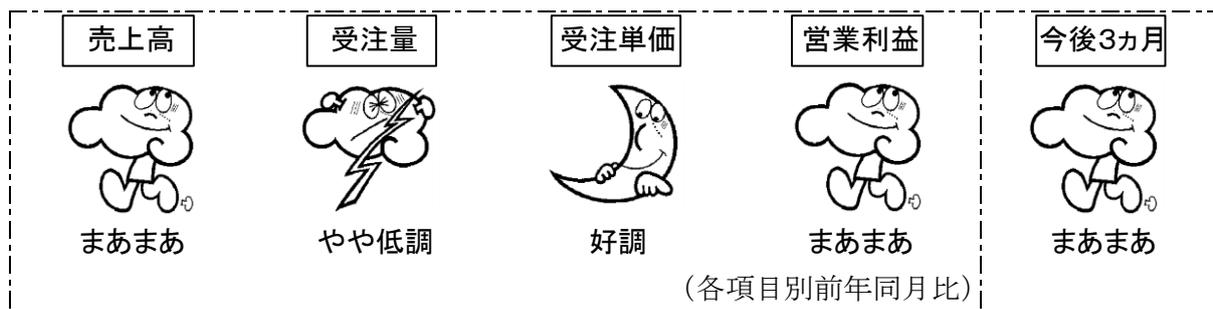
【項目別DIの推移】

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
売上高	23.1	33.4	10.0	7.7	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0	7.7	9.1	8.3	40.0	40.0	23.1
販売客数	7.7	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 16.6	▲ 25.0	7.7	9.1	▲ 16.7	10.0	▲ 10.0	7.7
販売客単価	15.4	8.4	30.0	15.4	10.0	▲ 8.3	0.0	23.1	36.4	8.3	40.0	20.0	30.8
営業利益	7.7	16.7	0.0	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 16.7	0.0	7.7	▲ 9.1	0.0	30.0	0.0	▲ 7.7
見通し	7.7	▲ 16.7	▲ 10.0	▲ 7.7	▲ 30.0	▲ 16.7	16.7	7.7	▲ 9.1	▲ 25.0	0.0	10.0	0.0

#### <経営者の目・見方・e t c>

- 青果
  - ・野菜、果実ともに昨年より単価が高く推移している。入荷は減っているが経営的にはよかった。4月1日の合併に向けて最終段階に入っている。
- 青果卸小売業
  - ・ウクライナ情勢と新型コロナウイルス感染症による二重の不安がある。それに加えて、様々な物価が上がり不安材料がとても多い。それに加えて人の動きが悪く、不安が高まっている。
- 魚介類
  - ・まん延防止等重点措置が解除されたが、飲食や観光の生活パターンが変わってしまったのか、回復には時間がかかりそうである。
- 業務用食品
  - ・最近では学校関係で新型コロナウイルス感染による学級閉鎖等が多く、それに伴い家庭内での感染も多くなり当分はこの状態が続くのではないかと感じる。これから先どのようなようになっていくのか知りたい。
- 土産品
  - ・春休み期間中に学生の消費が増えて観光地に人出が戻ってきている。まん延防止等重点措置も解除されて経済活動も活発化されることに期待したい。
- 機械工具
  - ・4月になり電気料金の見直しがあり、再度の値上げの連絡が仕入先よりあった。こちらが予想していた以上の値上げで苦慮している。
  - ・原材料価格の高騰により仕入価格が上昇し続けている。企業努力の範疇を超えているが、即座に価格転嫁できず利益率が悪化している。
- 金属製品
  - ・ロシアとウクライナ情勢もあり、各メーカーはもう一段階の値上げ傾向にある。自動車減産の影響か、産機、建機、さらに建築案件も回復してきており、今後の需要の巻き返しが期待される。ただ、価格転嫁がどこまでできるか不透明感がある。
- 自転車
  - ・原材料の不足により商品調達がいまだに難しい。また、燃料費の高騰により経費の負担が増えている。売上は復調してきているが再び商品の長期欠品がいつ起こるか予断を許さない状況である。仕入先からは価格の値上げの話がある。

## 4. 小売業



### 【項目別DIの推移】

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
売上高	▲11.1	3.6	▲8.3	▲16.7	▲13.6	▲48.2	▲45.9	20.9	13.0	9.1	4.4	▲28.0	4.2
販売客数	▲18.5	▲10.8	▲4.1	▲20.8	▲13.7	▲44.5	▲50.0	8.3	13.1	0.0	▲4.4	▲32.0	▲4.2
販売客単価	▲14.8	▲10.7	▲8.4	▲29.2	▲13.7	▲29.6	▲20.9	4.2	▲13.1	27.3	0.0	4.0	16.7
営業利益	▲22.2	0.0	▲12.5	▲25.0	▲27.3	▲37.0	▲50.0	4.2	4.3	0.0	0.0	▲16.0	4.1
見通し	7.4	▲14.3	▲20.8	▲8.3	▲13.7	▲14.8	0.0	12.5	▲8.7	▲27.3	4.3	▲12.0	0.0

### <経営者の目・見方・etc>

- |         |   |
|---------|---|
| 燃料      | ・ロシアとウクライナの戦争の影響でエネルギー価格がどのようになっているのか非常に心配である。  |
| 印章      | ・書類への捺印を減らすことで印鑑もゴム印も使う機会が減り受注減という流れが止まらない。年度末の買い物などのおかげか、人の流れが少しずつ回復しているように見受けられる。                   |
| 印章・刃物研ぎ | ・税務申告も含め、押印書類に関わる機会が現実問題としてなくなってきており業界の先細りが思いやられる。  |
| ガラスサッシ  | ・昨年暮れに引き合いがあり、諦めていた物件がコロナ禍の長引きと共に窓の改装となった。換気窓の改装というリフォームが決まり売上に作用した。                                  |
| 化粧品     | ・人出が増えてきた。食料が高騰してきているのが他の消費にどのように影響が出てくるのか心配である。  |
| 陶磁器     | ・まん延防止等重点措置が明ける前から、気温の上昇と共に人の動きも増え始めた。卒業、転勤、春休みの影響か県外ナンバーの自動車も目立った。花の便りやイベントの情報も増え、値上げの春だが、期待も膨らむ。    |
| 文具      | ・地元の集まりを行いたい。   |
| 洋菓子店    | ・例年よりギフト需要が大きい月であった。材料や梱包資材の値上げ通知がたくさん来ており、4月以降値上げや商品の見直しをしなければならない。改めて、経営戦略をしっかりと立て直さなければならないと感じている。 |
| 和菓子     | ・春が近くなるとともに人の活動が活発になり商品の販売力も良くなった。休日は人が出ている。  |
| 生鮮食品    | ・入試、卒業式と終わり人々が動き昨年と同じコロナ禍ではあるが、人が出ているように感じた。  |

## 5. 飲食業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
極めて低調	極めて低調	極めて低調	極めて低調	まあまあ
(各項目別前年同月比)				

### 【項目別DIの推移】

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
売上高	▲ 57.9	▲ 18.7	▲ 31.3	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 82.4	▲ 61.1	▲ 17.6	5.3	16.6	▲ 50.0	▲ 80.0	▲ 35.3
販売客数	▲ 52.6	▲ 18.7	▲ 37.5	▲ 5.0	▲ 25.0	▲ 76.5	▲ 66.7	▲ 23.5	10.5	16.6	▲ 62.5	▲ 86.7	▲ 35.3
販売客単価	▲ 31.6	▲ 37.5	▲ 56.2	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 52.9	▲ 44.4	▲ 29.4	▲ 10.5	5.5	▲ 37.5	▲ 53.3	▲ 35.3
営業利益	▲ 52.6	▲ 25.0	▲ 43.7	▲ 15.0	▲ 35.0	▲ 82.4	▲ 66.7	▲ 29.4	▲ 21.0	16.6	▲ 56.2	▲ 80.0	▲ 47.0
見通し	▲ 15.8	▲ 6.3	0.0	5.0	▲ 15.0	▲ 29.4	0.0	5.9	▲ 5.2	▲ 33.3	▲ 43.8	13.3	11.8

### <経営者の目・見方・etc>

料理

- ・山菜が取れ始めてきたが、新型コロナウイルス感染症の変異株の猛威は収まらず、さらには産地偽装の問題も出てきておりこの先どうなっていくのか不安しかない。

- ・値上げの情報が氾濫し、消費マインドが落ち込んでいる。悪いインフレになりそうであり、非常に心配である。材料の値上げをどう商品に反映できるか、非常に悩みどころである。

郷土料理

- ・人出は増えているが、3月特有の送別会が全く無く、宴会への参加を人数規制する会社もまだ多い。4月から善光寺御開帳や御柱祭の観光客の人出に期待する。

創作料理

- ・まん延防止等重点措置が3月6日に解除され予約が入り始めた矢先、松本市内の新型コロナウイルス感染者数が下げ止まりどころか増加の傾向が見え始めキャンセルもあり、予約もゼロとなってしまった。致し方ないことではあるがお手上げ状態である。今入っている予約は5月の仕出しの2件のみだ。どのようにしたらいいのかわからない。

そば

- ・ウクライナ情勢が長期化しそうでガソリン等の高騰や食材の値上がり懸念される。コロナ禍の出口が見えない中、今後どのような営業形態をしていったらいいのかわからないところである。

寿司

- ・新型コロナウイルス感染者数の高止まりを考えると、格段にお客様の動向は戻ってきていると実感できた3月であったが、4月に入ってからはいまのまの流れである。今後はGWに向けてさらに感染者数が増えないことを願うばかりである。

- ・日本政府のロシアへの経済制裁が魚貝類の価格にまで影響してくるとは思いもよらずにいた。ウクライナ情勢が及ぼす日本経済への影響は計り知れない。新型コロナウイルス感染症は無論、戦争の早期終結を心より願っている。

食堂

- ・まん延防止等重点措置が解除されてもすぐには客足が戻らない。中頃になってから予約が入るようになり忙しくなってきた。これからは各自が自覚をもって新型コロナウイルス感染症の予防対策をしっかりと行っていけば経済も良くなってくると考えている。
- ・新型コロナウイルス感染症が収束する気配がないのか、人出は減少気味で売上も減少している。

## 6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
売上高	▲ 2.4	9.7	13.6	0.0	0.0	▲ 15.0	▲ 17.5	▲ 20.5	▲ 7.1	▲ 2.5	0.0	▲ 12.0	9.8
販売客数	▲ 11.9	9.8	2.3	0.0	▲ 6.8	▲ 22.5	▲ 17.5	▲ 27.3	▲ 14.3	▲ 10.0	4.7	▲ 23.8	▲ 4.8
販売客単価	▲ 2.4	7.3	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 9.1	▲ 7.5	▲ 10.0	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 12.5	▲ 2.3	▲ 14.3	0.0
営業利益	▲ 14.3	2.4	▲ 4.5	▲ 9.5	▲ 15.9	▲ 22.5	▲ 20.0	▲ 20.4	▲ 7.1	▲ 10.0	▲ 4.7	▲ 31.0	2.4
見通し	▲ 2.3	▲ 17.1	▲ 2.3	14.2	▲ 18.2	▲ 7.5	10.0	▲ 13.7	▲ 7.2	▲ 17.5	▲ 20.9	2.3	2.5

### <経営者の目・見方・e t c>

旅館

- ・まん延防止等重点措置が解除され消費者の旅行意欲が戻ってくることを期待している。

温泉旅館

- ・全国的にコロナウィルス感染者が減らない中でも暖かい陽気と春休みの需要で、前年同様くらいの売上高を確保できた。引き続きこれからも期待ができそうである。しかし、エネルギーや物価高が大きな懸念材料である。
- ・事業復活支援金の対象である11月～3月は元々シーズンオフであり3割以上の売上減はなく該当しそうもない。寒さが続き北信のようなドカ雪はなかったが毎日のように雪が降り、例年よりかなり降雪量が多いように感じる。

ホテル

ホームクリーニング・リネンサプライ業

- ・少しずつ動きは出ているが、売上に繋がらない。
- ・経済や人を動かそうとすると新型コロナウイルス感染症が拡大するサイクルはすでに周知の通りであり、いかに重症化しない手立てを講じるかではないかと考えている。すべての原材料が値上がり、自助努力も限界である。

写真

- ・卒園式や卒業式のシーズンでやり方など多様であったが行われて本当に良かった。学校行事が行われると人の動きもあり、卒業写真の撮影などもあった。今後も厳しい状態は続きそうである。

自動車整備・板金塗装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事量が多い月であった。ガソリンの高値、新型コロナウイルス感染症、戦争とこの先は非常に不安要素が多く先行きが不安である。4月からの値上げも気になるところである。</li> </ul>
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入部品の納期が半年から1年かかるものが増えてきている。仕事量は多いが納品できない。この状況がいつまで続くのだろうか、早く平和な世界に戻って欲しい。</li> </ul>
測量・建設コンサルタント業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知人や取引先でも新型コロナウイルス感染者が出るなど、いつ感染してもおかしくない状況である。ずっとこのままだろうという諦めムードが漂っている。3月になり観光客も大勢見かけ、人の動きが活発になってきたように思う。</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT分野での2025問題というものは、実はもう始まっていて既存システムがどう業務と関わっているかを理解しないまま、技術的なトレンドだけで進めてしまっているプロジェクトが見受けられる。再構築に着手する前に必要なことがあるはず。</li> </ul>
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まん延防止等重点措置が解除され人出が少しずつだが増えてきた。それと同時に売上も増えてきている。</li> </ul>
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月は業績も良い状態であった。4月はGWもあり、Go Toトラベルキャンペーン事業再開に向けてホテルの予約に期待しつつ引き続き健康的な働く環境の維持に努めていこうと思う。</li> </ul>
獣医	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症のオミクロン株(B.1.1.529)系統の変異株である、ステルスオミクロン株が第6波のピークアウトを待たずして第7波に突入してゆく可能性があるといわれている。当院の関係者も第6波で影響を受けており現実的なものになってきている。(不顕性感染であった。)国政ではワクチン接種をより一層啓蒙し推進して欲しい。</li> </ul>
リラクゼーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まん延防止等重点措置が出ると来店客数が減る。</li> </ul>